

一般社団法人 日本多胎支援協会

Japan Multiple Births Association

第13回 通常総会 議案書

【日時】 2022年6月25日(土) 15:30～16:00(受付開始15:20～)
【場所】 日本多胎支援協会 事務局(オンライン)

<次第>

- 1, 開会の言葉
- 2, 代表理事 挨拶
- 3, 議長選出・議事録署名人選出
- 4, 定数の報告
- 5, 議案
 - 第1号議案 2021年度(第13期)事業報告の件
 - 第2号議案 2021年度(第13期)収支決算報告の件
 - 第3号議案 代表理事交代の報告の件
 - 第4号議案 2022年度(第14期)事業計画(案)の件
 - 第5号議案 2022年度(第14期)収支予算(案)の件
- 6, 議長解任
- 7, 閉会の言葉



一般社団法人
日本多胎支援協会
Japan Multiple Births Association

2021年度活動報告

月	事業 (月日/開催地または開催方法) ◇:キリン福祉財団助成事業 ◆他団体事業	年間
4月	・ 業務執行理事会(11日) ・ 第1回理事会(17日/zoom)	《JpMBA NEWSの配信》 NO.67~71
5月		
6月	・ 業務執行理事会(9日) ・ 業務執行理事会(24日) ・ 第2回理事会(26日/zoom) ・ 第12回通常総会(26日/zoom)	【主催講座・交流会】 《母子保健・子育て支援 行政担当者、子育て支援団 体等向け講座》 7/22 10/24 1/14
7月	◆ 液体ミルク支援事業ミーティング(6日/グリコ社) ・ 業務執行理事会(7日) ・ 第2回 産前産後サポート事業活用推進WEB講座(10-15日/オンデマンド配信) 《822名/再生回数1,657回》	《子育て支援者向け 多胎支援講座》 5/30 9/23 11/3 2/23
8月	・ 業務執行理事会(9日) ・ 業務執行理事会(12日) ・ 第3回理事会(20日/zoom)	◆日本双生児研究学会(トコモ市民活動団体助成) 「新型コロナ禍の多胎子育て状況調査」協力 《妊娠期からの多胎 ファミリー教室運営講座》 7/25 8/7 9/4
9月		《ピアサポート支援講座》 6/20 7/3 7/16 3/1 ピアサポート事業相談会 5/9 1/14 1/21
10月	・ 業務執行理事会(3日) ◆ 育児相談担当者のための多胎支援研修会(8日/zoom)《29名》 ・ 第4回理事会(16日/zoom) ◇ 第11回全国フォーラム(31日/宮城県仙台市・zoom)《360名》	《看護職向け 多胎支援研修講座》 7/31、12/18
11月	◇ ふたごポケットブックシリーズNO.7 校了・印刷・発行	《ZOOMでしゃべり場》 6/12 7/10 8/21 9/11 10/9 11/13 2/12 3/12
12月	◆ 日本こども虐待防止学会第27回学術集会 かながわ大会(4-5日/神奈川県) 公募シンポジウム開催 ・ 業務執行理事会(13日) ・ 業務執行理事会(24日)	【その他】
1月	・ 業務執行理事会(12日) ◆ 日本双生児研究学会(17日/zoom) 参加	講師派遣 冊子販売
2月	・ 第4回理事会(5日/zoom) ・ 「ツインズデーに乾杯」(22日/JpMBA設立記念日)	情報提供(HP、SNS等)
3月	◇ ふたごポケットブックシリーズNO.6,NO.8 校了・印刷・発行 ◇ ふたごポケットブックシリーズNO.1 改訂版発行	

2021年度(第13期)収支決算報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2021年度予算		2021年度決算		備考
	収益外	収益事業	収益外	収益事業	
会費収入					
正会員会費	350,000		320,000	0	10,000円×31名+過年度分1名
賛助会員会費	390,000		238,628	0	団体会員15、WEB会員27名
会費収入小計	740,000		558,628	0	
助成金収入	1,000,000		1,000,000	0	(公財)キリン福祉財団
賛助	500,000		606,000	0	
冊子収入	0	885,000		861,230	
雑収入	0		0	0	
参加費収入	695,000		689,250		自主講座受講料
受取利息	10		11	0	
収入合計	2,935,010	885,000	2,853,889	861,230	

支出の部

項目	2021年度予算		2021年度決算		備考
	収益外	収益事業	収益外	収益事業	
I, 事業費					
旅費交通費	383,000	0	371,572	0	全国フォーラム・虐待防止学会等
通信費	35,480	74,000	20,850	31,050	冊子送料他
謝金	170,046	0	336,425	0	自主講座講師謝金
会場借料	45,000	0	0	0	
制作費	24,000	611,160	3,455	707,300	ポケットブック、全国フォーラムチラシ
消耗品費	30,000	2,000	0	3,000	封筒
会議費	19,000	0	330	0	
支払手数料	4,400	5,720	4,652	1,045	
賃金	0	0	0	0	
雑役務費	65,800	0	125,746	0	ZOOM・Google利用料
諸会費	36,000	0	57,083	0	ひろば全協、ICOMBO、虐待防止学会参加費
備品費	0	0	0	0	
委託料	0	14,000	0	25,880	冊子発送
期首棚卸高	0	1,238,806	0	1,238,806	冊子
期末棚卸高	0	1,312,606	0	1,554,419	冊子
事業費支出小計	812,726	633,080	920,113	452,662	
II, 管理費					
旅費交通費	5,000	0	22,410	0	
通信費	42,512	0	34,692	0	会員案内、ドメイン・サーバー使用料
謝金	300,000	0	291,000	0	事務局活動協力謝金
会場借料	0	0	0	0	
制作費	0	0	0	0	
消耗品費	10,000	0	9,958	0	プリンターインク、判子
会議費	3,000	0	0	0	
支払手数料	2,200	0	2,695	0	振込手数料、カード年会費
支払利息	0	0	132	0	
法人税等	0	41,000	0	66,500	法人税、地方法人税
法人住民税	0	74,500	5,700	76,200	法人県民税、法人市民税、2017、2018年度市民税延滞金
法人事業税等	0	11,700	0	19,300	法人事業税、地方法人特別税
租税公課	30,000	0	0	0	
備品費	74,855	0	74,855	0	弥生会計ソフト
委託費	120,000	0	134,199	0	HP保守
予備費	0	0	34,760	0	吊電、供花
管理費支出小計	587,567	127,200	610,401	162,000	
支出合計	1,400,293	760,280	1,530,514	614,662	

項目	2021年度予算		2021年度決算		備考
	収益外	収益	収益外	収益	
当該年度の収入-支出	1,534,717	124,720	1,323,375	246,568	
前年度繰越金	3,261,831	-7988	3,261,831	-7,988	
次期繰越金	4,796,548	116,732	4,585,206	238,580	
	4,913,280		4,823,786		

正味財産増減計算書

自 2021年4月1日 至 2022年 3月31日

単位:円

(正味財産増減の部)		
正味財産増加の部		
1 資産増加額		1,569,943
2 負債減少額		0
	増加額合計	1,569,943
正味財産減少の部		
1 資産減少額	当期収支差額	0
2 負債増加額		0
	減少額合計	0
当期正味財産増加額(減少額)		1,569,943
前期繰越正味財産額		3,253,843
当期正味財産合計		4,823,786

貸借対照表

2022年 3月31日現在

単位:円

資産の部		負債の部	
【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	3,359,699	未払法人税等	162,000
商品	1,554,419	未払金	10,000
未収入金	82,000	預り金	27,288
前払金	26,956		
流動資産合計	5,023,074	流動負債合計	199,288
		負債の部合計	199,288
		正味財産の部	
		【一般正味財産】	
		前期繰越正味財産	3,253,843
		当期正味財産増加額	1,569,943
		一般正味財産合計	4,823,786
資産の部合計	5,023,074	正味財産の部合計	4,823,786
資産合計	5,023,074	負債及び正味財産合計	5,023,074

監査報告書

一般社団法人 日本多胎支援協会

代表理事 志村 恵 様

令和 4 年 6 月 18 日

監 事 吉井 一美 

監 事 高山 ゆき子 

私たち監事は、一般社団法人日本多胎支援協会の令和3年度(第13期)の事業運営及び会計事務を監査した結果、当法人の運営及び事務処理は適正になされており、事業報告書及び収支決算書は、正確であることを認めます。

以上

第3号議案

代表理事交代の報告の件

代表理事布施晴美氏が、2021年12月21日逝去されたため代表理事不在の状態となりましたが、2022年2月5日に理事会を招集し、慎重協議した結果、理事の全員一致をもって志村恵氏を新代表理事として選任し、志村恵氏もその就任の承諾をされ、同日付けで新代表理事に志村恵氏が就任したことを、ここにご報告いたします。

2022年度活動計画（案）

月	事業（月日/開催地または開催方法） ◇:公益財団法人SBI子ども福祉財団助成事業、◆:他団体等事業	年間
4月	◇『多胎家庭アセスメントガイドブック』 （仮称）作成のための調査研究	《JpMBA NEWSの配信》 年4回+α 【主催講座・交流会】 《母子保健・子育て支援 行政担当者、子育て支援団体等 向け講座》 7/24 11/9 2/11 《子育て支援者向け 多胎支援講座》 8/27 11/27 2/26 《妊娠期からの多胎 ファミリー教室運営講座》 申込制講座 《ピアサポート支援講座》 申込制カスタマイズ講座 《看護職向け 多胎支援研修講座》 7/30、他1回 《ZOOMでしゃべり場》 年4回 多胎ネットリーダー交流会/ 多胎サークルリーダー交流会/ みつごママの集い/ツインスデー 【その他】 講師派遣 冊子販売 情報提供（HP、SNS等）
5月	◆ 多胎家庭の保育所等入所に 関する実態調査（金沢大学）	
6月	・ 第1回理事会（25日/zoom） ・ 第13回通常総会（25日/zoom）、第1回勉強会 ◆ 翔泳社出版事業	
7月		
8月	・ 全国多胎サークル調査	
9月	・ 第3回多胎産前産後サポート事業活用推進講座（オンデマンド配信）	
10月	・ 第2回理事会（15日） ◇ 第12回全国フォーラム（16日/大阪・大阪大学吹田キャンパス/zoom）	
11月		
12月	◆ 日本子ども虐待防止学会第28回学術集会福岡大会（10-11日/福岡県） 公募シンポジウム	
1月		
2月	・ 第3回理事会（5日/岡山県orzoom） ・ 「ツインスデーに乾杯」（22日・JAMBA設立記念日）	
3月		

第5号議案

2022年度(第14期)収支予算(案)

(2022年4月1日～2023年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2021年度決算		2022年度予算		備考(略称表記)
	収益外	収益事業	収益外	収益事業	
会費収入					
正会員会費	320,000	0	350,000	0	10,000円×35名
賛助会員会費	238,628	0	380,000	0	団体会員15団体、WEB会員(@2875)80名
会費収入小計	558,628	0	730,000	0	
助成金収入	1,000,000	0	1,000,000	0	(公財)SBI子ども希望財団
賛助	606,000	0	500,000	0	
冊子収入		861,230	0	945,000	
雑収入	0	0	0	0	
参加費収入	689,250	0	855,000	0	自主講座受講料
受取利息	11	0	10	0	
収入合計	2,853,889	861,230	3,085,010	945,000	

支出の部

項目	2021年度決算		2022年度予算		備考(略称表記)
	収益外	収益事業	収益外	収益事業	
I. 事業費					
旅費交通費	371,572	0	841,000	0	全国フォーラム、理事会、虐待防止学会他
通信費	20,850	31,050	29,440	4,700	資料送付、冊子送付
謝金	336,425	0	482,500	0	全国フォーラム・自主講座、講師・サポート謝金
会場借料	0	0	50,000	0	多胎支援事業推進講座
制作費	3,455	707,300	30,000	206,800	全国フォーラムチラシ・資料、ポケットブック
消耗品費	0	3,000	10,000	10,000	事務用品
会議費	330	0	8,500	0	茶菓子
支払手数料	4,652	1,045	5,000	1,365	
賃金	0	0	0	0	
雑役務費	125,746	0	140,000	0	ZOOM・Google利用料等
諸会費	57,083	0	71,000	0	ひろば全協、ICOMBO、虐待防止学会参加費等
備品費	0	0	0	0	
委託料	0	25,880	360,000	71,200	調査票発送・調査データ作成等
期首棚卸高	0	1,238,806	0	1,554,419	冊子
期末棚卸高	0	1,554,419	0	1,214,923	冊子
事業費支出小計	920,113	452,662	2,027,440	633,561	
II. 管理費					
旅費交通費	22,410	0	50,000	0	厚労省訪問等
通信費	34,692	0	40,000	0	会員案内、ドメイン・サーバー使用料他
謝金	291,000	0	48,000	0	事務局活動協力謝金
賃金	0	0	360,000	0	事務局賃金
会場借料	0	0	0	0	
制作費	0	0	0	0	
消耗品費	9,958	0	10,000	0	事務用品
会議費	0	0	0	0	
支払手数料	2,695	0	3,000	0	振込手数料
支払利息	132	0	0	0	
法人税等	0	66,500	0	48,200	法人税、地方法人税
法人住民税	5,700	76,200	0	74,900	法人県民税、法人市民税
法人事業税等	0	19,300	0	13,900	法人事業税、地方法人特別税
租税公課	0	0	0	0	
備品費	74,855	0	0	0	
委託費	134,199	0	0	0	
予備費	34,760	0	0	0	
管理費支出小計	610,401	162,000	511,000	137,000	
支出合計	1,530,514	614,662	2,538,440	770,561	

項目	2021年度決算		2022年度予算		備考
	収益外	収益	収益外	収益	
当該年度の収入-支出	1,323,375	246,568	546,570	174,439	
前年度繰越金	3,261,831	-7988	4,585,206	238,580	
次期繰越金	4,585,206	238,580	5,131,776	413,019	
	4,823,786		5,544,795		

令和3年度 計画助成事業実施報告書

令和 4年 4月 19日

公益財団法人 キリン福祉財団 御中

(〒651-2242)

住 所	兵庫県神戸市西区井吹台東町3-2-8-202
団 体 名	一般社団法人日本多胎支援協会
代 表 者	志村 恵
T E L	078-992-087(F A X 078-992-0870

貴財団より助成を受けた事業について、下記の通り実施報告をいたします。

1. 事業名	どこでも安心して多胎児を産み育てられる環境づくりのためのステップアップ事業
2. 事業目的	適切な情報が得られず、社会的に孤立し、ともすれば虐待や育児不安に陥りがちな多胎家庭が、地域格差なく安心して妊娠・出産・育児を行える環境づくりを推進する。
3. 事業概要	下記の2つの事業を実施した。 1. 全国フォーラム 2. ふたごポケットブックシリーズ新刊3冊と、No.1 の改訂版の発行（各1000冊印刷） ① NO.6「ふたごの沐浴・入浴～より安全に・より安心に～」 ② NO.7「見直しを！ふたご家庭の事故予防」 ③ NO.8「ふたごの外出」 ④ NO.1「ふたごの妊娠・出産」
4. 事業時期内容	4月～ ふたごポケットブックシリーズ 執筆開始 6月27日 全国フォーラム打合せ（オンライン） 7月26日 全国フォーラム打合せ（オンライン） 8月29日 全国フォーラム打合せ（オンライン） 10月24日 全国フォーラム打合せ（オンライン） 10月31日 一般社団法人日本多胎支援協会 第11回全国フォーラム in 宮城 「みんなで支えよう多胎育児！～もう多胎児の虐待死は起こさない～」 2021年10月31日（日）10:00～12:30 公立大学法人 宮城大学 看護学群（〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1-1） を配信拠点とし、オンライン配信。 配信拠点会場30名、オンライン参加約330名 11月 ふたごポケットブックシリーズNO.7 校了・印刷・発行 3月 ふたごポケットブックシリーズNO.6,NO.8 校了・印刷・発行 ふたごポケットブックシリーズNO.1 改訂版発行
5. 事業成果	1. 全国フォーラム コロナ禍のために延期していた全国フォーラムを会場とオンラインでのハイブリッド形式で実施し、過去最多となる約360名の参加があった。配信拠点となった宮城県では、現地協力団体であるみやぎ多胎ネットの協力により、積極的に宮城県や仙台市などの自治体や助産師会等に働きかけ、県知事・仙台市長からのメッセージビデオを受けるなど、行政をはじめとする地域の子育て支援関係者に多胎家庭の現状と支援の必要性の理解促進のための、大変貴重な機会となった。仙台市からは、多胎家庭を受け入れる保育園関係者への録画視聴の要望があるなど、実施後にもその効果が波及していることが感じられた。 また今回初めてオンライン参加も募り、各都道府県庁を通じて各自治体へ事業告知ができたことでこれまでの対面式のみでは参加が難しかった全国各地の行政関係者の参加が得られ、全国各地での多胎支援普及のための情報提供がより効果的に行えた。 2. ふたごポケットブックシリーズ 貴助成により、これまで5刊を発行してきた「ふたごポケットブックシリーズ」において、今年度は、「多胎家庭の安全と安心」を重視し、①沐浴・入浴、②事故予防、③外出をテーマとする3刊を発行した。 ふたごポケットブックシリーズは、情報が少ない多胎家庭、および支援者に気軽に手に取ってもらえるツールとして好評で、自治体からの発注も増えている。 初年度に発行した3冊はいずれも完売したため、増刷することとなった。その内、NO.1の改訂版の増刷を貴財団助成で行った。
6. 今後の計画	全国フォーラムは、当協会のミッション事業として今後も継続開催する予定です。今回初めてのオンライン実施で、多数の参加を得ることができました。一方、これまでの全国フォーラムの開催地では、その後も活発な多胎支援活動が進んでいる地域が多いため、今後も今回と同様にハイブリッド方式で実施していく予定です。 ふたごポケットブックシリーズは、発行した8刊で、多胎家庭が必要とする情報を概ね網羅することができたのではないかと考えます。今後も継続的に各方面に広報すると共に、増刷の際には内容を見直し、長く活用していただける冊子としていきたいと考えます。 どちらも当協会にとって「柱」となる事業となりました。これからも大切にしていまいります。長年にわたり貴財団助成に支えていただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

令和3年度 会計収支報告書

令和4年4月19日

団体名 一般社団法人日本多胎支援協会 (印)

収入の部

	項 目	金 額						備 考
		十 万	万	千	百	十	円	
1	キリン福祉財団助成金	1	0	0	0	0	0	
2	自己資金		3	6	1	2	3	
3								
4								
5								
6								
	(A) 合 計	1	0	3	6	1	2	3

支出の部

	項 目	金 額						備 考
		十 万	万	千	百	十	円	
1	謝金		2	1	1	3	7	講師謝金11,137円、ウェビナー運営協力@5,000×2名
2	旅費・交通費		2	6	2	4	3	8 講師・スタッフ旅費
3	制作費		7	1	1	2	5	5 ふたごポケットブック@203,500×3冊 ふたごポケットブック96,800円
4	通信費				9	3	1	0 後援申請・広報切手代
5	その他（委託費）		3	1	9	8	3	zoom利用料20,213円、ウエビナー契約費
6								
7								
8								
9								
10	雑 費						0	上記以外のもの
	(B) 合 計	1	0	3	6	1	2	3

- ① 支出の部の項目は、その内容を示す項目名称に区分してください。（消耗品費、謝礼金、交通費等）
- ② (A)と(B)の金額は一致させてください。
- ③ 支出項目の金額と、その項目の領収書の合計金額とを一致させてください。
- ④ 領収書を添付して下さい。領収書は原則、原本です。添付については、別紙作成例をご覧ください。
- ⑤ 備考欄には、決算金額の算出根拠（具体的な品名・単価・数量など）について明記してください。